

はたら ひと
働く人になるんだ!

中学校の特別支援学級や特別支援学校高等部などでは、職場体験学習や職場実習に取り組んでいます。一步一步、夢の実現に向けて積み重ねの毎日です。

さて、小売店などお客様と接する事業所で働く生徒たちは、「いらっしゃいませ」「ありがとうございました」「かしこまりました」などの接客にふさわしい言葉を学び、はきはきと対応できるよう実習に取り組んでいます。また、製造業などで働く生徒たちも、商品や製品に傷をつけないよう気をつけながら、細かい仕事や力仕事、立ち仕事など、いろいろな作業に正面から向き合っています。

子どもたちは、県内の様々な事業所でお世話になっていますが、どの事業所の方も、身だしなみを整えたり、言葉づかいを丁寧にしたり、時間を守ったりするなどの、ふだんの生活をしっかりとできることがまず大切だとおっしゃっています。また、自分の家庭の食器洗い、掃除、洗濯物などの仕事を手伝うことも大切だといわれています。

ご家庭でも、お子さまに応じた家庭での仕事や、お手伝いをさせてあげてください。仕事をやりとげた達成感や、人の役に立っていると感じる喜びなど、もらった経験をたくさん重ねていく中で、やればできるんだ、もっとがんばってやろうという気持ちが高まっていき、将来仕事をするうえで、大きな力となることと思います。



おてつだい

ゆめ む
夢に向かって
いっ ぽ
一歩ずつ

専門家から一言

滋賀県高等学校巡回チーム
スーパーバイザー 藤井 茂樹



職場で仕事を続けるには、早寝早起き、日頃の健康管理が大切です。基本的には立ち仕事が多く、体力・健康・気力等が求められます。就労のためには、家庭において身の回りの自立、家庭での役割分担、体力づくり、ルール・約束事を守る、ことばでの表現練習、健康管理、お金の使い方等の準備が必要になります。

体力づくりの一環として、スポーツに親しむ機会を多く持つことも大切なことです。得意なスポーツを大勢の人と楽しむ機会が多くあれば、体力づくりだけではなく、友だちをつくったり、ルールを覚えたりすることにもつながります。

障害のある人がスポーツ・レクリエーション活動に積極的に参加することは、生活の質（QOL）の向上にもつながるといわれています。

学校、家庭、地域、様々な場面において、お子さんが積極的にスポーツに参加する機会をたくさん持ってください。そして、その活動が楽しさや喜びを伴うものとなるように取り組んでいただきたいと思います。

